

# 再 評 価 対 象 事 業

社会資本整備総合交付金事業  
(高松港港湾環境整備事業) 高松港(朝日地区)

港 湾 課

# 1. 事業箇所



埋立後の写真 (R2.5)

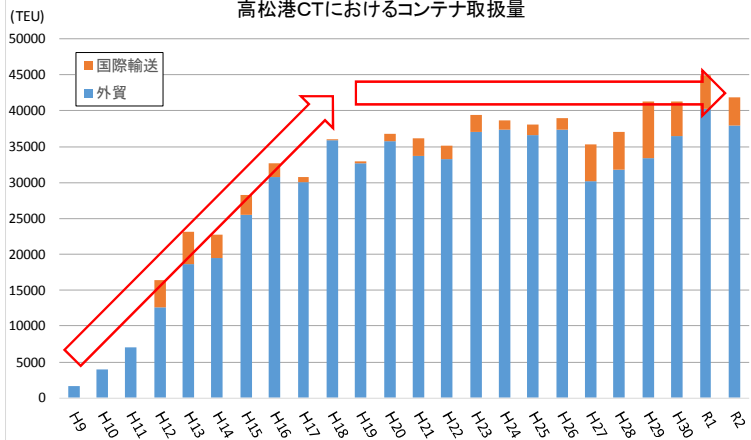


出典：香川の港湾2007

# 2. 事業概要

## 高松港国際物流ターミナル

高松港CTにおけるコンテナ取扱量



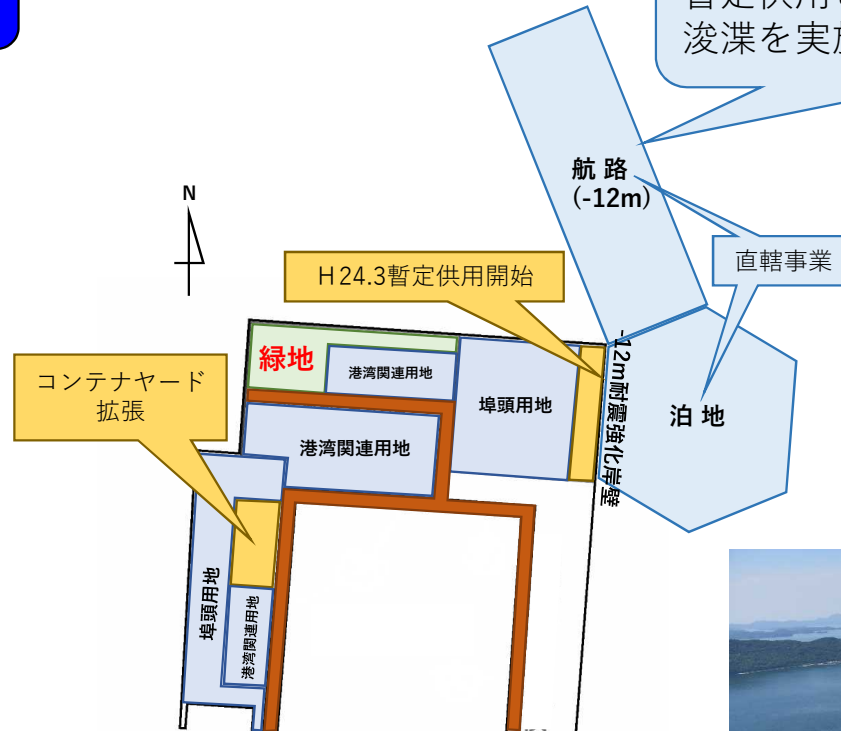
コンテナヤード不足によりコンテナ取扱量が頭打ちとなっている！



R元.5.27日撮影

地元企業で製造された大型クレーンが岸壁 (-12m) から海外に向けて輸出される。

航路が計画水深より浅く、岸壁が暫定供用となっていることから、浚渫を実施し水深を確保する。

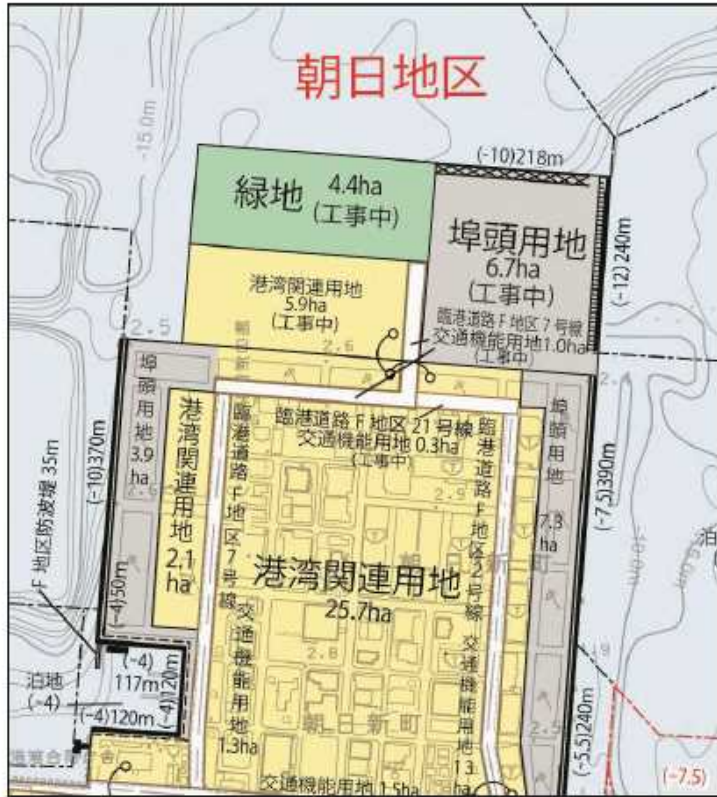


大規模地震発生時には緊急物資の輸送拠点としての役割を担う！



# 3. 港湾計画の変更

H26再評価時点

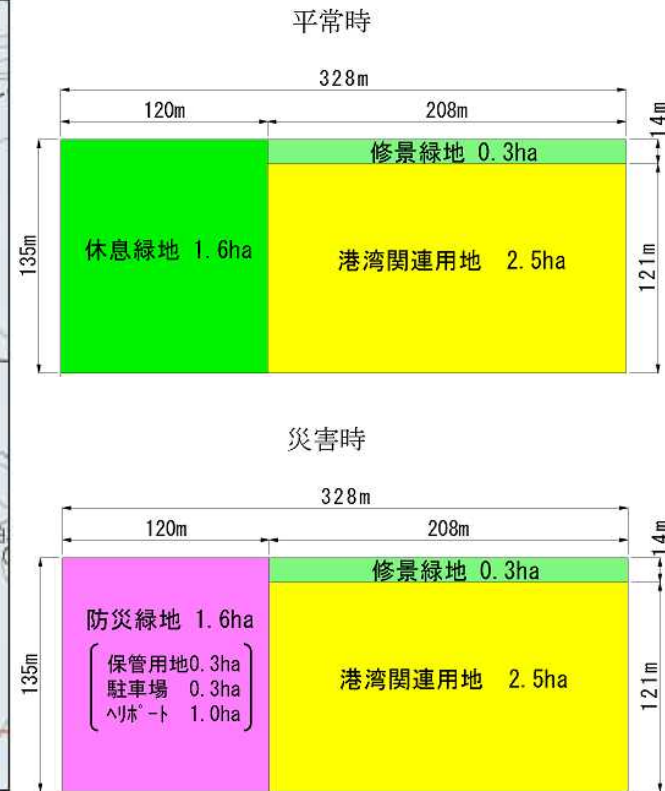


<費用便益比>  
 $B/C = 6.1$

R 2.10計画変更



<費用便益比>  
 $B/C = 2.2$



## 4. 再評価の視点及び対応方針(案)

### ①事業の必要性等に関する視点

#### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 今後30年以内に70～80%の確率で発生すると予測されている南海トラフ地震や、近年の激甚化・頻発化する風水害などの大規模災害に対する防災・減災対策の必要性が高まっている。
- 高松港は、香川県国土強靱化計画において四国の防災拠点に位置付けられており、今後整備を予定している緑地については、耐震強化岸壁における物資の受入れを補助するための防災緑地としての機能を有する重要な施設である。

#### 2) 事業の投資効果

- 費用便益比 (B / C) : 2. 2

#### 3) 事業の進捗状況

- 総事業費1,529百万円に対し、事業費ベースで約87%に達している。

### ②事業進捗の見込みに関する視点

- 平成23年度に護岸の整備が完了、平成29年度に埋立土の搬入が完了しており、残る工事は緑地整備のみであることから円滑に進捗できる見込みである。

### ③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 維持管理費を縮減できるような施設選定を行う。

<対応方針(案)>

⇒以上のことから、事業を継続する。

(R3.6撮影)

